

## 施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

- ・'1 2 アプリコット F 1 / F 1 A (TCF4711, 4711AM 他)
- ・'1 2 アプリコット F 2 / F 2 A (TCF4721, 4721AM 他)
- ・'1 2 アプリコット F 3 / F 3 A (TCF4731, 4731AM 他)
- ・'1 2 アプリコット F 3W / F 3AW (TCF4831, 4831AM 他) 用

### 1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

### 2. 連立トイレの配置例

正 規 品	( タ イ 1 プ ) 1	( タ イ 2 プ ) 2	正 規 品	( タ イ 1 プ ) 1	( タ イ 2 プ ) 2
( タ イ 3 プ ) 3	( タ イ 4 プ ) 4	( タ イ 5 プ ) 5	( タ イ 3 プ ) 3	( タ イ 4 プ ) 4	( タ イ 5 プ ) 5

3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、TOTOメンテナンスへご依頼下さい。(有償)

＜＜本体側の設定方法＞＞ ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

---

**手順** **作業の前に…**

特殊モード設定作業はベースプレートからウォシュレットを取り外しても作業ができます。狭いトイレなどの場合は、ベースプレートからウォシュレットを取り外しての作業をお勧めします。

①ボタンを押したまま  
②ウォシュレット本体を手前に引く

本体取りはずしボタン

---

**手順 1** ◆途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

本体操作部の **運転** を10秒以上押し続ける。

10秒後に本体の全表示ランプが**5秒間点灯**します。

**本体操作部**

**本体表示部**

＜下図は例です＞

---

**手順 2** **運転** を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)すると、**すぐに** **ビデ** を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

◆途中で失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。

---

**手順 3** **運転** を押したまま、**おしり** スイッチを押す。

**おしり** を押す度に標準→特1→特2…特9→標準と設定が切り替わります。

**本体表示部**

●…緑点灯 ▲…橙点灯 ×…消灯

設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9
運転	●	×	●	×	●	×	●	●	×	●
便座	●	●	×	×	●	●	×	●	●	×
節電	●	●	●	●	×	×	×	▲	▲	▲

---

**手順 4** ◆手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

**運転** から手を離れた時点で設定したコードになります。

---

**手順 5** ウォシュレット本体の背面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

<<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																								
1		<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。</p> <p>②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <p>③「止」スイッチを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (電源が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <p><b>ご注意!!</b> 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p>																																																							
2		<p>リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。 ◆裏板を外す際は、上側から外してください。 (下側から外すと外れにくい場合があります。)</p> <p><b>ご注意!!</b> 基板には触らないようにお願いします。 人体の静電気で破壊するおそれがあります。</p>																																																							
3	 <p>◎:つながったまま ×:切断</p> <table border="1" data-bbox="252 1137 1046 1339"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1(J1)</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2(J2)</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3(J3)</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4(J4)</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	JP1(J1)	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2(J2)	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3(J3)	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4(J4)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	<p><b>ご注意!!</b></p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> <p>リモコン基板上の4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																															
JP1(J1)	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																															
JP2(J2)	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																															
JP3(J3)	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																															
JP4(J4)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																															
4		<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れてリモコンを取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p> <p><b>ご注意!!</b> 裏板を取り付ける前に、電池端子が正しく取り付けられていることを確認してください。</p>																																																							
5	 <p>例 リモコンコード特1 このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p>	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																																							

※1 ウォッシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。  
 ※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)